

令和6(2024)年度 学校全体の自己評価

栃木県立足利高等学校

1. 本年度の重点目標

- (1) 主体的に学ぶ態度の育成と学力向上を目指した授業（学習指導）の実践
- (2) 進路希望の実現のための組織的取り組みの実践
- (3) 心(徳)・体・技(智)のバランスの取れた人格形成を促す指導の充実
- (4) 特色ある教育活動の計画的な実践
- (5) 新校舎移転等の円滑な実施

2. 重点目標の自己評価

重点目標	評価基準	自己評価	学校関係者評価
(1) 主体的に学ぶ態度の育成と学力向上を目指した授業（学習指導）の実践	各部・学年の(1)に該当する項目の合計点 A：15点以上 B：14点以下～0点 C：0点未満	B (8点)	生徒のみならず、教員も研修を通じてスキルアップを図っている。良いシステムができている。長期休業中の取り組みも大切である。
(2) 進路希望の実現のための組織的取り組みの実践	各部・学年の(2)に該当する項目の合計点 A：10点以上 B：9点以下～0点 C：0点未満	B (7点)	進路に関する情報は早いほどいい。保護者としても対応がしやすい。受験は全国が相手である。さらに充実した指導を望む。
(3) 心(徳)・体・技(智)のバランスの取れた人格形成を促す指導の充実	各部・学年の(3)に該当する項目の合計点 A：17点以上 B：16点以下～0点 C：0点未満	B (10点)	多くの生徒が足高生としての誇りと自覚を持って生活している。上手く軌道に乗れていない生徒をどう指導していくかが大切。
(4) 特色ある教育活動の計画的な実践	各部・学年の(4)に該当する項目の合計点 A：16点以上 B：15点以下～0点 C：0点未満	B (10点)	毎年の学校祭開催は大変だが、生徒のより良い人間性を育むのにはプラスである。さらに特色ある教育活動を継続してほしい。
(5) 新校舎移転等の円滑な実施	各部・学年の(5)に該当する項目の合計点 A：5点以上 B：4点以下～0点 C：0点未満	B (4点)	移転作業は大変だったと思うが、生徒はより良い環境で学校生活を送れるようになった。最先端のハード・ソフトが提供できている。

評価基準について：

①＝各部・学年の重点目標の評価を【◎：1点、○：0点、△：-1点】とし、該当する項目(1)～(4)に分類したときの合計点とする。

②＝各部・学年の重点目標で(1)～(4)それぞれに該当する項目数【(1)=25 (2)=17 (3)=28 (4)=27 (5)=8】とする。

①÷②が【A：60%以上、B：60%未満、C：0%未満】とする。